

創建 そうこん

2017・5・26 VOL.52 NO.1 (通巻163号)

平成28年度建築学科就職状況報告号

- 平成28年度建築学科就職状況の概要・1
- 求人企業数・就職者数都道府県分布・1
- 業種別就職者数と応募区分・2
- 就職先内訳・2～3
- 平成28年度卒業・修了生就職活動報告・4

■ 日本大学・工学部・建築学教室 ■

■概況■

平成28年度の求人件数は1,272件と昨年度を約200件上回り、近年見られる学生の売り手市場が継続されました。学部と大学院を合わせ計175名の就職希望者に対し就職者が175名となり、3年続いて内定率100.0%を達成しました。

図1には、工学部の求人企業数の本社所在地と就職者数の都道府県分布を示しましたが、建築学科を対象とした求人企業のうち約41%が東京本社です。福島県は約120社に留まりました。求人がない県はわずか5県しかなく、多様なニーズに対応し得る幅広い求人がありました。

就職者のうち約37%は東京本社の企業が占め、3年連続の傾向がみられた一方で、東北の企業へは約22%とここ数年よりも割合が減少、関東の企業とほぼ同数となりました。これは、例年よりも北関東出身の学生が多く、かつ地元志向が強いことによるものです。群馬県は全員、茨城県・栃木県は約75%と、例年以上に高い県内出身者が占める結果となりました。

地元福島県への就職者は減少したものの、25名の就職者のうち24名が県内出身者となり、例年以上に高い割合を占めています。その他、青森県・千葉県・長野県・広島県の4県でも、7割以上を地元出身者が占めています。学生の出身地である地元企業への就職者は45%弱に達し、昨年より若干減少したものの、例年同様の傾向となりました。

表1に示す企業業種別からみた動向によると、約半数が建設業に就職、特に女子学生では例年よりも多い約35%を占めました。業界が積極的な女性採用を進めていることもあり、女子学生の進路先が幅広く道が拓けたことは大変喜ばしく、より多くの女子学生が今後も続くことを期待します。

応募区分による内訳からは、自由応募が主流であるものの、建設業では選考後の推薦書提出もみられます。インターネットでの応募が主流の就職活動となったからこそ、長年の経験で培った企業と工学部との縁に基づく、工学部独自の就職活動支援を大いに活用することが望まれます。

■就職・進学先の内訳■

全進路先を8種に分離し、表2に示しました。工学部就職セミナーに参加した企業への就職者は93名、50%以上となり、昨年度の60%以上には及ばないものの高い割合となりました。地方都市であるがゆえに活動開始が遅くながりますが、3月上旬の就職セミナーまでに企業研究を綿密に行い、志望企業への熱意が伝わるエントリーシートを作成し、十分なSPI試験対策や面接練習など、早期から積極的に臨む姿勢が就職内定に結びついています。

業種の内訳では近年の傾向であった他業種への進路が昨年以上に減少し、概ね建設業に関わりの深い業種へと就職しています。震災復興を意識した進路選択者が増加しているものと思われる、福島県での多くの経験を復興や地元の発展に活かしてほしいと願っています。

日頃から自分を磨く努力を忘れずに充実した大学生活を送ることが早めの活動開始につながります。世間に溢れる過剰な情報に惑わされず、自信を持って臨んでください。

	求人企業数(社)	%	就職者数(名)	%
東京	525	41.3	64	36.6
関東	206	16.2	36	20.6
北海道	11	0.9	6	3.4
東北	202	15.9	37	21.1
甲信越	55	4.3	12	6.9
東海	73	5.7	7	4.0
北陸	28	2.2	1	0.6
近畿	121	9.5	9	5.1
中国	21	1.7	3	1.7
四国	9	0.7	0	0.0
九州	17	1.3	0	0.0
沖縄	4	0.3	0	0.0
外国		0.0	0	0.0
計	1,272		175	

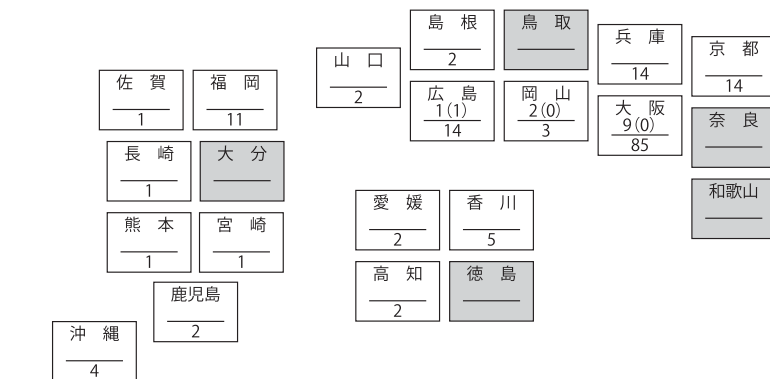
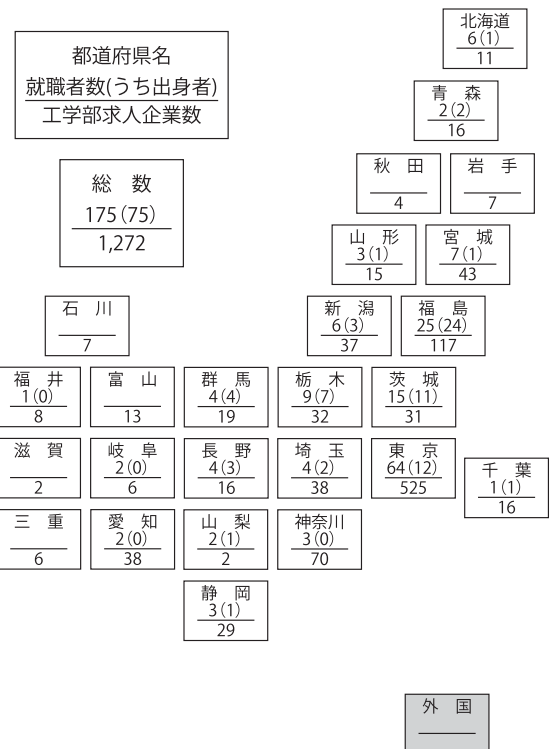


図1 都道府県別の工学部建築学科求人企業数と就職者数 (*注 グレー表示は求人企業がない県を示す)

表 2-3 就職先の内訳<住宅・不動産・リフォーム>

企 業 名	所 在 地	就 職 者 数	企 業 名	所 在 地	就 職 者 数
● 大和ハウス工業(株)	大 阪 府	1	● (株)土屋ホームトピア	北 海 道	1
積水ハウス(株)	大 阪 府	1	(株)石井工務店	福 島 県	1 (1)
大東建託(株)	東 京 都	1	(株)オノヤ	福 島 県	2
旭化成ホームズ(株)	東 京 都	1	● トヨタホームとうほく(株)	宮 城 県	2
● (株)一条工務店	東 京 都	1	エステート住宅産業(株)	栃 木 県	1
● 大成有楽不動産(株)	東 京 都	1	郡中丸木(株)	福 島 県	1 (1)
(株)ジェイアール東日本都市開発	東 京 都	1 (1)	アパグループ(株)	東 京 都	1
● サンヨーホームズ(株)	大 阪 府	1	(株)エコ・ビレッジ	福 島 県	1
タクトホーム(株)	東 京 都	1	● (株)増子建築工業	福 島 県	2 (1)
● トヨタウッドユーホーム(株)	栃 木 県	2	(株)ジュン・ホーム	茨 城 県	1 (1)
(株)イシカワ	新 潟 県	1 (1)	(有)松匠創美	神 奈 川 県	1
(株)内藤ハウス	山 梨 県	2	(株)宮前建設	東 京 都	1
● (株)ノーブルホーム	茨 城 県	3 (1)	(株)トラストハウス	神 奈 川 県	1
			計		33 (7)

表 2-4 就職先の内訳<設計事務所・コンサルタント>

企 業 名	所 在 地	就 職 者 数	企 業 名	所 在 地	就 職 者 数
(株)オオバ	東 京 都	1	(株)ピオ・プランナーズ	福 島 県	1 (1)
● (株)I N A 新建築研究所	東 京 都	1	(株)桜設計事務所	茨 城 県	1
● (株)サンユウシビルエンジニアリング	東 京 都	2	(株)増山栄建築設計事務所	茨 城 県	1
(株)開発設計コンサルタント	東 京 都	1 (1)	(株)邑建築事務所	福 島 県	1 (1)
● (株)協和建築積算事務所	東 京 都	1 (1)	エーユーエム構造設計(株)	福 島 県	1
(株)エスパス建築事務所	大 阪 府	1	(有)自然と住まい研究所	茨 城 県	1
(株)三上建築事務所	茨 城 県	1	(株)建構造研究所	新 潟 県	1
(株)イー・アンド・イー総合設計	静 岡 県	1	計		16 (4)

表 2-5 就職先の内訳<製造業・建築関連>

企 業 名	所 在 地	就 職 者 数	企 業 名	所 在 地	就 職 者 数
● タカラスタンダード(株)	大 阪 府	1 (1)	● 日本コンクリート工業(株)	東 京 都	1
● クリナップ(株)	東 京 都	1	郡リース(株)	東 京 都	1
住友大阪セメント(株)	東 京 都	1	エムエスシーソフトウェア(株)	東 京 都	1
● (株)ネクスコ東日本エンジニアリング	東 京 都	1 (1)	関東宇部コンクリート工業(株)	東 京 都	1
● 丸栄コンクリート工業(株)	岐 阜 県	1	(株)構造システム	東 京 都	1
● (株)南東北クボタ	宮 城 県	2	岡谷建材(株)	東 京 都	2
● 東京鐵鋼(株)	東 京 都	1	大日化成工業(株)	東 京 都	1
前田製管(株)	山 形 県	1	計		17 (2)

表 2-6 就職先の内訳<その他>

企 業 名	所 在 地	就 職 者 数	企 業 名	所 在 地	就 職 者 数
アズビル(株)	東 京 都	1	(株)エスピー商会	福 島 県	1
福島トヨタ自動車(株)	福 島 県	1	(株)デジタル・デザイナーズ・スタジオ	東 京 都	1
● アルス(株)	福 島 県	1	自営業	栃 木 県	1
郡山信用金庫	福 島 県	1 (1)	計		7 (1)

表 2-7 就職先の内訳<官公庁・法人・教員>

団 体 名	所 在 地	就 職 者 数	団 体 名	所 在 地	就 職 者 数
青森県庁	青 森 県	1 (1)	福島県伊達市役所	福 島 県	1
山形県庁	山 形 県	1	福島県田村市役所	福 島 県	1
● 静岡県庁	静 岡 県	1	茨城県神栖市役所	茨 城 県	1
青森県八戸市役所	青 森 県	1 (1)	栃木県那須塩原市役所	栃 木 県	1
● 栃木県宇都宮市役所	栃 木 県	1	群馬県伊勢崎市役所	群 馬 県	1
福島県福島市役所	福 島 県	1 (1)	長野県松本市役所	長 野 県	1 (1)
福島県いわき市役所	福 島 県	1	防衛省 陸上自衛隊	東 京 都	1
● 福島県須賀川市役所	福 島 県	1	(学)日本大学	東 京 都	1
			計		16 (4)

表 2-8 進学先の内訳

進 学 先 名	所 在 地	進 学 者 数	進 学 先 名	所 在 地	進 学 者 数
日本大学大学院工学研究科	福 島 県	10 (1)	信州大学大学院総合理工学研究科	長 野 県	1 (1)
東京芸術大学大学院美術研究科	東 京 都	1	日本大学工学部研究生	福 島 県	1
東京工業大学大学院環境・社会理工学院	東 京 都	1	日本大学工学部科目等履修生	福 島 県	1
東北大学大学院工学研究科	宮 城 県	1	計		16 (2)

平成28年度卒業・修了生 就職活動報告



＜総合建設業・施工管理職＞

清水川 慶堯（速水研究室 大学院生）

進路先：鹿島建設株式会社

出身校：岩手県立久慈高等学校

私は、建設業で働く父に憧れ、幼い頃から「モノづくりの最前線」で働き、将来は現場所長として活躍したいと考えてきました。就活が始まり、鹿島EXPOに参加した際、若手社員の方々が現場を生き活きと熱心に説明される姿に打たれ、また、鹿島建設の現場を体験する中で、この一員として働きたいと強く思うようになりました。入社後は1つ1つの現場を大切に、多くの事を学び成長したいと思っています。就活を通じて重要だと感じたことは、できるだけ早く自己分析と企業研究を行うこと、リクレーターや日大OBの方とコミュニケーションを取ること、就活を楽しむことです。就活では普段見られない環境や現場を見ることができ、自分の興味のある企業には積極的に足を運んでみて下さい。社会人としてのマナーを忘れず、悔いの残らないよう、精一杯取り組んで下さい。そして笑顔を大切に。



＜住宅産業・技術職＞

松本 稔弘（市岡研究室 学部生）

進路先：積水ハウス株式会社

出身校：千葉県立長狭高等学校

私は住宅の設計に憧れがあり、ハウスメーカーに絞って就職活動をしました。3年の夏からインターシップに積極的に参加し、ハウスメーカーの設計職にも様々な種類があることを知りました。住宅を設計する上で、直接相手と顔を合わせてのコミュニケーションがとても大切だと考え、自分の考えとマッチングする会社を探しました。早くから活動を始めていたことで、より深くまで考えられた自己分析ができ、インターンシップ先で出会った他大学の就活生と情報を共有できたことで、本格的な就職活動にも落ち着いてスムーズに入っていくことができました。他大学と比べる動き出しが鈍いことを実感しました。日頃から将来を見据えた大学生活が望まれます。就職活動では、自分らしさを相手に伝えることが重要です。自分を深く理解し、将来に対する自分の考えをしっかりと持って頑張ってください。



＜総合建設業・施工管理職＞

櫻井 繭（浅里研究室 学部生）

進路先：株式会社大林組

出身校：宮城県立古川黎明高等学校

私はものづくりが好きで自分の作ったものが形として残り、社会に貢献できる仕事がしたいと思っていました。サークル活動やインターシップを通して実際に建物を作るという目標に皆で向かい、ものづくりの過程を見届けながら作業全体を管理する施工管理職を志望するようになりました。気になる企業のインターシップには全て参加し、その際の現場の雰囲気やOBの話から女性も現場で活躍している大林組を志望しました。就職活動の際には教授を始めリクレーター、OBの皆さんが親身になって相談や助言をして頂き、そのお陰で自分の志望動機をはっきりと面接でアピールできたことが内定に繋がったと思います。日大の強く大きなつながりを感じました。今年は選考から内定までが早く大変だったので、早めに進路を考えてみてください。大規模現場の所長として街のシンボル作りに携わりたいです。



＜総合サービス業・技術職＞

天城 周恵（浦部研究室 学部生）

進路先：株式会社ジェイアール東日本都市開発

出身校：私立開智中等高等学校（埼玉県）

私は元々商業施設に興味があり情報収集をしていくなかで、設計者だけでなく発注者側としても関わられる仕事があることを知りました。設計活動には興味があったので、設計者と一緒にデザインを考えられる仕事に魅力とやりがいを感じました。就職活動を通じて大切だと思うことは行動力です。私は自分の知っている企業以外にも、多くの企業の説明会に足を運ぶことで、自分がイメージする仕事と違う所や、知らなかった職業などに会うことができ、自分の可能性が広がりました。就職活動はこの先の人生に関わることです。自分が将来どうしていきたいのか、どのような人間になりたいのかを考えた上で行動することが、自ずと就活の準備につながり、将来の道へと導かれていきます。自分が納得できる有意義な時間を過ごしてください。私は将来、大きな開発に携わり街を変えていきたいです。



＜建築設備業・施工管理職＞

佐藤 泰輝（千葉・日比野研究室 学部生）

進路先：株式会社大気社

出身校：岩手県立不來方高等学校

私が就職活動を始めた際に、企業の現場見学会に参加してみて、建設現場で働く方が自分の長所を生かせると思い施工管理職に決めました。そして、その中でも建築設備の改修事業や維持管理にやりがいや将来性を感じ、設備業界を志望しました。面接では、決まり切った言葉だけで話すのではなく、自分の考えをしっかりと話すことが大切だと感じました。また、企業分析、自己分析に時間をかけ、「自分と企業がどのような点でマッチングしているか」を考えると、エントリーシートの志望動機も困らなくなり、面接でもなぜその企業を志望したのかを論理的に語れると思います。就職活動は、これまでの自分を見つめ直すよい機会です。悔いの残らないように就職活動をしてください。将来は、海外勤務を経験し、そこで得られた多くの知見を仕事に生かし、皆に誇れる現場の所長として活躍したいです。



＜公務員・土木職＞

佐藤 大輔（土方研究室 学部生）

進路先：山形県庁

出身校：山形県立山形工業高等学校

私は民間企業への活動を行わなかったため、面接・集団討論を通じて感じたことを書きます。在校生の皆さん、色々なことにチャレンジしてください。なぜなら、就活だけではなく、その後の人生にも役立つと思ったからです。大学入学当初、民間企業に就職しようと思っていました。2年次には教員も目指しました。そして最終的に山形県庁の土木職に決めました。この決断に至ったのは様々なことに挑戦してきたからだと思っています。就活を3年次から始めるのでは遅いと思います。情報は1年次から自分で収集し、そして、今すぐ、興味を抱いたことには手当たり次第に挑戦しましょう。その過程で面接・集団討論で言える多くの自分らしさが形作られます。本当に役立ちます。自分がやりたいこと、楽しいと思える職業に就けるよう何事にも取り組み、多くの人々との出会いを大切にしてください。